

●天神原夜まつり●

去る7月28日(土)天神原夜まつりが開催されました。大勢のご家族ならびに地域の方々にご参加頂き、盛大に行うことが出来たことを心よりお礼申し上げます。



●敬老おたっしや会●

～聞かせてください、あなたのことを～

9月16日(日)かたくりの郷、9月17日(祝)白馬メディアと神城醫院で87名のご家族にご参加頂いて、敬老会が開催されました。今年は、ご家族からお話を伺って、入所しているお年寄りの人生を漢字一文字で色紙に表してみました。

- 「優」 いつも優しくもの静かだったお母さん
- 「支」 夫を支え、家族を守ってくれたお母さん
- 「母」 8人の子供を育ててくれたお母さんありがとう
- 「真」 仕事一筋で頑張ってきたお父さん
- 「働」 どんな仕事も厭わず一生懸命働いてくれたお母さんありがとう
- 「心」 先祖を尊ぶ心は、自分を大切にすることに通じる
- 「活」 何事にも興味を示し、いつも生き生きしていたお母さん
- 「樹」 大地に根をおろし芯のしっかりした大樹のようなお母さん
- 「穏」 常に皆の平和、平穏を望み心穏やかな人でした



神城醫院・白馬メディア・かたくりの郷



9月30日安曇野メディアでは恒例の「安曇野メディア祭り」を行いました。17回目の今年は、午前10時のオープニングでは、はっぴ姿の職員による祝いの餅つきを行い、会場内におけるこ、きな粉餅として配られました。

当日は、あいにくの冷たい雨が降り続く天候ではありましたが、地元の方をはじめ、近隣の皆さん、ボランティアの皆さん、実習の学生さん等多くのご参加を頂きました。

作業療法の作品展示コーナーでは、細かい細工に足を止めて熱心に見入る姿や、中庭の池でのニジマス釣りコーナーで釣りをされている姿が見受けられました。



バイキング形式での昼食会は、ご家族等と一緒ににぎり寿司、豚しゃぶ、天ぷら等々ゆっくり召し上がって頂くことができ、とても好評でした。

祭りのフィナーレは、職員による部署対抗合奏大会を行いました。各部署とも連日猛特訓した成果を発表し、利用者の皆さんから盛んな拍手を頂きました。



いつも優しく

城西病院



今年度の城西病院秋祭りは9月8日に開催されました。前日まで台風の影響による雨も降っており天候が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ予定通り屋外で実施する事が出来ました。秋祭りは「外出機会の少ない患者さんに季節感や屋外での開放感を味わって頂く」「祭りの機会を味わって頂く」などを目的に企画しました。例年通りフランクフルト、焼きそば、チョコバナナ、ジュースなどの出店や釣り堀などのゲームブース、禁煙ワーキンググループによる呼気ガスチェックが行われました。

さらに今年度は音楽に力を入れました。まずプロのシンガーソングライターの繭さんにボランティアとして参加して頂きました。オリジナル曲3曲を歌って頂き、皆さんプロである繭さんのすばらしい歌声に聞き入っていた様子でした。この他に燦メンタル利用者さんを中心に構成される燦々コーラスも「千の風になって」「翼を下さい」の合唱で日頃の練習の成果を発表して頂きました。その後、繭さんと燦々コーラスによる「ふるさと」を合唱して頂き、燦々コーラスメンバーからも「一緒に歌う事が出来て良かった」「今回発表することが出来た事に満足」といった声を多く聞く事が出来ました。さらに昨年度も好評だった薬局初谷部長の尺八の音色に皆で聞き入りました。どのアーティストも観客の心をがっちり掴んでいた様です。



最後は全員参加のビンゴ大会が行われ皆さん一喜一憂し、無事に秋祭りは終了しました。

今年度実行委員長として秋祭りに関わり、委員の皆さんや関係各部署の方々と一緒に楽しく仕事をさせて頂きました。普段見ることの出来ない患者さん・利用者さんの姿や多くの喜んだ顔を見ることが出来て、とても嬉しく思います。来年度は今年度の反省を踏まえながら、より患者様に喜んで頂けるような秋祭りにしていければと



豊科病院

10月27日(土)。本日は台風の接近に伴い、あいにくの空模様。幸い今年の秋祭りも前年に引き続き屋内で開催ということで、影響なく秋祭りは盛大に開催されました。

この秋祭りは、病棟をこえた対人交流を促していくこと、社会性を養っていくこと、季節感を持って頂くことを目的とし、各病棟よりレク委員を集い、約1ヶ月前から準備をすすめてきました。

今年の秋祭りの目玉は、全体での『歌謡ショー』と各病棟での『福引・喫茶』です。

まずは、3階の病棟に集まり、南新一歌謡ショーの始まりです。南さんは北島三郎さんのお弟子さんでいらっしゃる方ですが、現在では音楽事務所の先生でもあり、弟子の中野ゆかりさんと共に、心にジーンと響くとてもすばらしい歌を披露して頂きました。歌だけではなく、患者さん一人一人と握手して下さるため、始めは、歌を聞いて手拍子をしているだけの人も、ショーの中盤には方々から掛け声があがり、アンコールの声までもが自然と出てきていました。会場は病院ではなく、あたかもコンサート会場のような歌謡ショーは盛り上がりも絶頂の中終了となりました。

歌謡ショーの余韻に浸りながら、各病棟へ戻り、喫茶と福引きが始まります。

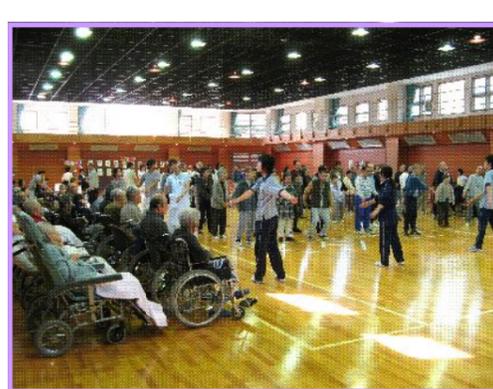
喫茶では、ケーキやドーナツ、ところてんなど事前に注文をとり、金券と交換という形で行いました。三角くじを引き、商品をもらえるという、お祭りの屋台にある福引を再現しました。1等から3

等、特賞の景品を用意する病棟もあれば、ある病棟では、「オシャレで賞」などユーモアのある景品を用意する病棟もありました。病棟ごとで別々の場所で行った会ではありますが、喫茶をし、福引で景品をもらった患者さんの笑顔はやはり、皆さん同じく素敵でした。

今回の秋祭りを通して、患者さんとスタッフ皆が心から楽しいひと時をすごせたこと、何より患者様が喜んでいただのが一番。豊科病院に いっぱい笑顔が溢れた素敵な秋祭りでした。



小倉病院



小倉病院、秋の恒例行事のスポーツ大会が10月20日(土)に開催されました。病院が開院して5年が経過し、今回で5回目の開催となりました。病院の体育館を利用するので入院中のほとんどの患者さんが参加される大会となっております。

入院生活が長期になる方が多くなり、平均年齢も年を追うごとに上がっています。日頃満足に体を動かす事のない患者さん方には、楽しみの行事となっております。

事務局長の開会のあいさつによりスポーツ大会が幕を開け、病棟ごとのチームに分かれて、各種目を行い優勝トロフィーを目指して競い合います。大会の特徴は入院されているすべての方が参加出来るように職員が工夫をして、作り上げた大会です。玉入れは独歩できる方は普通サイズの高さにあるかごを目掛けて玉を投げ込みますが、車椅子の方でも参加できるようにかごを低くし、玉を入れられるように工夫して行いました。綱引きでは足腰がしっかりしている方を前方に、車椅子の方などを後方にし、職員が非常事態にすぐにサポートできるように備え競技を行います。予想以上に力の入った勝負を繰り広げます。皆さん 意外と力強い です。

その他に大玉送り、旗拾い、パン食い競争、職員リレーと競技を行いました。大会時間は9時30分から11時30分まで2時間の短い時間ですが、皆で優勝トロフィーを目指すことにより、職員と患者さんが一体になれより一層の信頼関係が構築できたでしょう。大会を終了して参加者が楽しく、怪我無く無事に終わった事がなにより良かったと思います。

